

本協会は大夫・三味線・人形の三業の育成と普及をはかるため、昭和八年に発足し、その後、江戸時代からの伝統をもつ日本因会と合併して人形浄瑠璃因協会と名を改め、協会賞の設定、先賢の祭祀、顔附の発行、関係資料の収集保存などを行っていますが、女義太夫公演もその一つです。

現在、本会の会員は全国に約百五十名で、文楽公演に活躍している文楽協会所属技芸員等が約九十名、女子大夫・三味線約六十名となっております。

女義太夫公演は、本会女子部会員の技芸奨励と研究発表の場として、昭和三十年に第一回を開催以来、幸いにも皆様の熱心なご声援を得て、ここに九十九回を迎えることができました。

出演者一同それぞれ日ごろの努力精進の成果をご披露申しあげます。
どうぞ、より一層のご声援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

財団法人 人形浄瑠璃因協会

大阪市住之江区南港北一丁目四一六大阪WTCビル一七階
大阪市ゆとりとみどり振興局 文化部 内

平成二十一年二月十四日(土) 国立文楽劇場 小ホール

午前十一時 開演

人形浄瑠璃因協会

第九十九回 女義太夫公演

主 催 財団法人 人形浄瑠璃因協会

番

組

一、壺坂観音靈驗記

竹本 友香

沢市内の段

豊澤 雛文

一、絵本太功記

竹本 初丸

尼ヶ崎の段(後)

豊澤 源幸

一、傾城阿波の鳴門

竹本 朝八

順礼歌の段

鶴澤 友音

一、仮名手本忠臣蔵

竹本 佳之助

裏門の段

鶴澤 三寿々

一、恋飛脚 大和往来

竹本 友代

新口村の段

鶴澤 友喜久

一、菅原伝授手習鑑

竹本 越京

杖折檻の段

鶴澤 三寿々